

高岡古城公園のリフレッシュ整備等について

高岡古城公園は、「日本 100 名城」「さくらの名所 100 選」などに選定される全国的に知名度の高い公園であるとともに、近年では前田利長公が築いた高岡城の城跡として国宝瑞龍寺等とともに「近世高岡の文化遺産群」を形成する史跡の一つとしてその価値が再認識されています。

高岡開町 400 年を迎えるにあたって、市では平成 19 年度から 20 年度にかけて、古城公園の魅力アップやバリアフリー化を進めるリフレッシュ整備に取り組んでまいりました。整備概要を紹介するとともに、最近の高岡古城公園に関する話題を紹介いたします。

1 リフレッシュ整備の目標

整備にあたっては、史跡としての景観を踏まえた施設の更新・充実による魅力アップ、バリアフリー化を図るとともに、利用しやすくわかりやすい施設を目指した。

< 整備の目標 >

- ・ 施設のバリアフリー化
- ・ 案内性の向上
- ・ 利便性の向上
- ・ 修景の向上

2 リフレッシュ整備の内容

(1) 園路整備

景観に配慮した材質（土系舗装）、舗装色（アース系カラー舗装）による園路舗装の打ち替え。

機能と景観に配慮した朝陽橋欄干の改修と、駐春橋欄干の再塗装。

(2) 北口駐車場

用地を取得して整備拡充した。（駐車場面積 2,500 m²、駐車台数障害者用 4 台含む乗用車 68 台と大型バス 2 台）

整備に当たっては、小竹藪駐車場との連続性を持たせた石積やコシノヒガンザクラの植栽、古城公園の景観と一体となるよう植栽（駐車場内タブノキ 7 本、民地外周部のウバメガシ生垣 45m）を施した。

(3) 修景整備

濠の水を循環させるポンプを設置して「古城の滝」を復活した。

景観に優れたビューポイントを選定し、樹木の剪定や刈払いを行った。

(4) 管理施設

園内放送設備として、公園管理事務所、市民会館及び市民体育館の 3 ヶ所に発信機器を、園内 10 ヶ所の照明灯などにスピーカーを設け、緊急避難施設としての防災機能を高めるとともに、イベント時の園内放送にも利用できるようにした。

園内の総合案内看板 7 基について、史跡としての景観、情報に配慮して表示内容を更新した。

(5) その他

市民体育館前に設置されているカリヨン「飛翔」については、落雷の影響で故障していた自動演奏装置を修復した。

3 高岡古城公園に関する最近の話題

(1)遊覧船「利長号」の運航

高岡商工会議所では、開町 400 年を迎え、観光客の増加が見込まれることから、古城公園の濠を巡る遊覧船「利長号」を運行(乗客定員 10 人)する。期間は 4 月 1 日から 9 月 13 日の「高岡開町まつり」までの土日祝日。(* 但し、桜まつり期間(4/1~ /19 のほぼ毎日)、ゴールデンウイーク(4 月末~5 月上旬)、お盆(8/中旬)は平日も運行予定。)

運行ルートは、池の端の乗船場を発着点とし、中の島 朝陽橋 動物園前 博物館前を往復するコースで約 30 分。

(2)新品種「タカオカコシノヒガン」の発見

このたび富山県中央植物園の調査研究により、古城公園・小竹藪で栽培されている古木の 30 本余りは、他とは異なる独自の新品種であることが判明し「タカオカコシノヒガン」と命名された。

*これを記念して富山県中央植物園では、4 月 29 日まで「タカオカコシノヒガン」を紹介する企画展が開催されている。また、古城公園を愛する会では、公園内の「タカオカコシノヒガン」に銘板を取り付けた。

(3)全国自治宝くじの図案に「高岡古城公園」が採用！

現在発売中の全国自治宝くじ「地域活性化シリーズ」の図柄に、高岡古城公園が採用されている。満開の「タカオカコシノヒガン」をはじめ、開町 400 年のマスコットキャラクター「利長くん」や、国重要文化財高岡御車山祭を組合わせた図柄となっており、春らんまんの高岡の様子が全国に向け発信されている。

なお、県内の図柄採用は平成 4 年のジャパンエクスが富山以来。

「高岡古城公園散策ガイド」ができました！

高岡開町 400 年にあわせ、たかおか観光戦略ネットワークより、「高岡古城公園散策ガイド」が発行されました。ガイドを片手にリニューアルされた高岡古城公園を散策すれば、古城公園の新たな魅力を発見できるかもしれません。

? 高岡古城公園散策ガイドはここで手に入ります

高岡古城公園内各施設、まちの駅(駅南 4 丁目)、市内の宿泊施設等、市役所商業観光課

古城公園リフレッシュ整備写真



本丸入口園路



搦手口園路



案内図レイアウト



案内板



北口駐車場全景



古城の滝